

岸和田城企画展「四季を彩る絵画展」の紹介

大塚 祥子

2018 年 12 月 19 日から 2019 年 5 月 19 日まで岸和田城天守閣 2 階展示室では、「四季を彩る絵画展」を開催しています（図 1）。今回の企画展では、「春」「夏」「秋」「冬」の四季をテーマに色鮮やかな作品を全 32 点展示しておりますので、その見どころを紹介します。

1. 季節をテーマにした展示

今回の企画展は、複数の画家の作品を季節ごとに見比べることができるという点が特徴となっています。例えば、冬景色を題材に描かれた絵画である日根対山『寒溪図』と岡部文錦『雪景山水図』の 2 作品を比べてみると、同じ冬を描いていても表現の違いが見えてきます。日根対山（1813～1869 年）と岡部文錦（1796～1854 年）はともに岸和田にゆかりのある画家で、日根対山は風景画をよく描き、繊細で緻密な画風を得意としました。岡部文



図 1. 岸和田城天守閣 2 階 企画展示室

錦は人物画や動物画が得意なこともあり、柔らかい印象を与える画風を得意としました。この 2 作品は、江戸後期という同時期に描かれていますが、実際に比較すると、両者の画風の違いがよりわかっていただけるかと思います。

もう一つの見どころとして、小川翠村（1902～1964 年）が描いた『岸和田八景』8 面すべてを公開しています。この作品は昭和前期に描かれたもので、当時を思いおこすことのできる作品となっています。作品の中でも『岸和田城』は、天守閣が再建される前の岸和田城址が描かれ、『岸和田市庁舎』では、昭和 16 年から昭和 28 年まで使われていた旧庁舎の姿が見られます。また、『だんじり祭り』では、現在の雰囲気とは違い、だんじりを曳く人々がまだ揃いの法被を着ていない様子などが描かれています。

2. 短冊

本市には、短冊収集家として知られる佐々木勇蔵氏が集めた、約 2 万 5 千点の短冊などが保管されています。その中から、今回は彩り豊かで、かつ、四季折々を詠った短冊を選び展示室中央のケースに展示しました。その中には、毛利一郎（元岸和田市長／任期：1947～1952 年）が描いた『鮎の図』もあります。

3. おわりに

岸和田城では、展示入れ替えによる臨時休場時期を除き、年間通して企画展を開催しています。また、1階の常設展には岸和田城と岸和田藩主岡部家に関する展示があり、3階の展望室からは岸和田市街が一望できるとともに、国指定名勝に指定されている岸和田城庭園（八陣の庭）を上空から見て、眺めを楽しむこともできます。岸和田の歴史や文化にふれ、さらなる岸和田の魅力を発見していただけたと思いますので、ぜひご来場ください。

（おおつかしょうこ 郷土文化室）

学校で学ぶ大阪湾～チリメンモンスター実習と貸し出し教材について～

柏尾 翔

大阪湾は、泉州に住む私たちの暮らしと密接な関係にある海ですが、学校教育の中で同湾について学ぶ機会は限られているのが現状です。2007年に海洋基本法が制定され、その中で国民が海洋への理解と関心を深めることができるよう、教育機関で海洋に関する教育を推進することが定められています。しかし、平成29年告示の新学習指導要領には、海洋教育に関する具体的な記述はなく、カリキュラム中で大阪湾について学ぶことができる単元は限られています。また、授業の一環で実際に大阪湾へ訪れようとしても、岸和田市内の沿岸域には親水環境がほとんどないうえ、遠方に出向く場合は、交通手段や安全面、金銭面などで多くの課題があります。

そこで、きしわだ自然資料館では大阪湾について学ぶ学習教材として、チリメンモンスター実習を実施しています。チリメンモンスターとは、ちりめんじゃこの中に混じるイワシ類の稚魚以外の様々な混獲物のことで、海の生き物の多様さや環境を学ぶプログラムです。現在は小学校でも数多くの取り組みがなされており、先生が主体的に実施されている事例も増えつつあります。

ちりめんじゃこに混ざる様々な生き物をさがし出すという工程は、子どもたちを遊び感覚で学びにつなげ、海の生物とその多様さに関心を持つきっかけを提供できます。また、食材であるというちりめんじゃこの特性から、理科だけでなく、国語科、社会科、生活科、家庭科などの科目と関連づけた横断的、総合的な学習が可能です（図1）。これは、学校で学んだ知識を相互に関連づけ、深く理解することにつながり、



図1. チリメンモンスター実習を活用できる単元

カリキュラム・マネジメントを進めるうえで効果を発揮する教材となり得るでしょう。この取り組みを学校教育の中でもっと活用してもらえるよう、きしわだ自然資料館では、船の科学館による「海の学び特別サポートプログラム」支援を受け、学校向けの貸し出し教材を作成しました。以下にそれらの教材を簡単に紹介します。

・実習用貸出キット

実習の際に必要な道具類をまとめたキット（取り皿大，取り皿小，ピンセット，ルーペ）です（図2）。補助教材となる同定用パンフレットと成果物作成時に使うカードのデータは、きしわだ自然資料館のHPから無料でダウンロードできます。実際の実習時には、このキット以外に鉛筆や木工用接着剤，チリメンモンスター混じりのちりめんじゃこ試料が必要ですが，試料については通信販売で購入可能です。予算等の都合で入手できない場合は，自然資料館までご相談ください。冷凍庫で保管している古い試料を無償で提供できます。ただし，数量には限度がありますので，ご希望に添えない場合もあります。

また，学校の教員向けに実習のノウハウや実践事例を紹介したガイドブックも作成しています。4月以降，市内小学校へ順次配布予定ですので，合わせてご活用ください。

・海の生き物の発生について学ぶ教材

ちりめんじゃこの原料となるカタクチイワシとチリメンモンスターとして見られるヒラメ，カニの仲間の発生が学べる人形模型です（図3）。小学校5年生理科に「動物の誕生」という単元がありますが，その学習後に知識を定着させる教材として活用が可能です。大阪市立長吉小学校では，5年生の「めだかのたんじょう」という単元の授業でメダカの発生について学習した後，その振り返りとして，海にすむ生き物たちの発生について，カタクチイワシとカニの仲間の模型を使って学習しました。

・大阪湾の漁業について学ぶ教材

大阪府内で行われている主要な漁法の一つで，ちりめんじゃこの原料となるカタクチイワシの稚魚（シラ



図2. 実習用貸出キット



図3. カタクチイワシやヒラメの発生を学ぶ模型



図4. シラスを獲る船びき漁の模型

ス)を漁獲する船びき網漁のしくみを学ぶことができるパペットです(図4)。大阪府内でのイワシ類の漁獲量のうち、約8割は岸和田市内の漁港で水揚げされています。社会科では4年生「都道府県の様子」や5年生「我が国の農業や水産業における食料生産」など、地域の暮らしについて学ぶ単元での活用が可能です。

・大阪湾の生き物を学ぶ教材

大阪湾でよく見られる複数の生き物をプラスティネーション標本にしたものです。プラスティネーション標本とは、生物の体内の水分や脂質をシリコン樹脂に置き換えて保存する樹脂封入標本の一種です。ホルマリン標本と違い取り扱いが簡単で、安全にふれることができるので、実際に手にとって、質感や重量感などを体感してもらうことが可能です。チリメンモンスターとして見られる生き物には稚魚や幼生期のものが多いので、この標本を使うことで成長した後の姿を子どもたちに見せることができます。

実習用キット以外の貸し出し教材は、チリメンモンスター実習と関連付け、まとめとして導入することも可能ですし、実習とは無関係に授業の単元に合わせた活用もできます。これらは、すべて今年度で作成したばかりで、これから使用方法のマニュアルや実践事例などを充実させていくつもりです。学校で実際に使ってみて、そこで出た意見を受けて、少しずつ改善してゆきたいと考えています。また、これ以外にも大阪湾のことを学ぶための貸し出し教材は複数あり、今後きしわだ自然資料館のホームページに情報を掲載する予定です。興味のある方はホームページをご覧ください。か、きしわだ自然資料館まで直接お問い合わせください。

(かしおしょう きしわだ自然資料館学芸員)

Information

●自然資料館の展示・講演会

写真展「第23回ネイチャーフォト写真展」

毎年恒例の写真展です。ふだんは気がつかないような自然の姿が見られるかもしれません。

会 期：2019年4月13日(土)～5月5日(日・祝)

時 間：午前10時～午後5時(入場は午後4時まで)

休館日：4月29日を除く毎週月曜日

場 所：きしわだ自然資料館1階ホール(堺町)

入場料：無料(常設展は高校生以上200円)

●岸和田城の展示

「四季を彩る絵画展」

岸和田市所蔵の絵画の中から「四季の美しさ」を表現した作品を集めた絵画展です。

会 期：2018年12月19日(水)～2019年5月19日(日)

時 間：午前10時～午後5時(入場は午後4時まで)

休場日：平日の月曜日

場 所：岸和田城天守閣(岸城町)

入場料：高校生以上300円・中学生以下無料

※お願い [fromM]は、学校教職員に1部ずつお配りください。

担当の方は忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願い申し上げます。

【from M】では、みなさまからのご意見、ご感想、ご質問等をお待ちしています。博物館での学習、研究等に関する情報、地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら、ぜひご投稿ください。お名前、連絡先、所属等をご記入の上、右記の宛先までお送りください。電子メールでも受け付けています。

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5 きしわだ自然資料館
TEL: (072) 423-8100 FAX: (072) 423-8101
Email: sizen@city.kishiwada.osaka.jp
きしわだ自然資料館ホームページ URL:
<http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/>
岸ぶら「きしわだ自然散歩ワニ目線」
<http://kishibura.jp/blog/shizen/>